



栃木県看護連盟だより

2025年
9月発行
第75号



2025年度
栃木県看護
連盟会員数

連盟 6,914名
協会 11,862名

(2025.8月末現在)

保健師	150名
助産師	267名
看護師	6,335名
准看護師	162名
合計	6,914名
協会比	58.3%
賛助会員	146名

INDEX

ごあいさつ
 小倉佳子・高原静子・あべ俊子 2
 石田昌宏・友納理緒・中島まゆみ 3
 石田まさひろ議員活動 4
 退任役員支部長あいさつ・新任役員支部長あいさつ 6
 ポリナビワークショップ・40代研修・会員研修 8
 日本看護連盟総会・栃木県看護連盟総会 9
 2025年度選挙区・支部一覧 10
 心に残るエピソード・起き上がりこぼし 11
 わが家自慢のペット紹介・おいしいお店の紹介 12

発行 者：栃木県看護連盟
 〒320-0838 宇都宮市吉野2-8-15
 TEL 028-610-1035
 発行責任者：栃木県看護連盟会長 小倉佳子
 印刷 所：(株)松井ピ・テ・オ・印刷

看護連盟だより 75 号に寄せてご挨拶

平素より看護連盟の活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

医療現場では、地球温暖化や高齢化の影響により、熱中症対応や高齢者ケアなど多忙な日々が続いていることと存じます。皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

6月の2025年度総会には多くの皆様にご参会いただき、無事終了いたしました。28年間にわたり看護連盟を支えてくださった渡辺瑛子顧問が今期で退任されました。深く感謝申し上げます。7月からは新体制のもと、参議院選挙活動にもご協力いただき、石田まさひろ議員の3期目当選につながり看護政策を前進させるための基盤を守ることができました。看護連盟は、看護協会が掲げる政策を実現するため、今後も議員と連携し活動を続けてまいります。また、栃木県訪問看護ステーション協議会の河野順子前会長が「フローレンス・ナイチンゲール記章」を受章されましたことをご報告し、皆様とともにお祝い申し上げます。

今後とも、皆様からの変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



栃木県看護連盟会長

小倉佳子

第27回参議院選挙で石田まさひろ候補が3度目の当選を果たしました。

都道府県看護連盟と支援者の皆様が連携し、17日間の選挙期間を全力で戦い抜いた結果です。お疲れ様でした。

今回は情報共有・伝達をLINEや動画等を活用しました。日を追うごとに情報が多くなり、各都道府県の活動を共有することで一体感が高まる様子を感じました。また、青年部の活動、動画配信も大きな力となりました。

選挙戦を振り返ると、関係者が一丸となって活動していることを肌で感じていたので、152,649票という獲得票数に、「なぜ？」という思いが残りました。皆さんは獲得票数をどう捉えたのでしょうか？改めて、選挙の難しさを痛感しています。

一方で、これまで石田議員が推進してきた看護職の処遇改善、看護職員不足の対処、診療報酬の基本的な考え方の改定等、看護政策の実現に向け、さらに前進できる喜びを、皆様と共に分かち合いたいと思います。



日本看護連盟会長

高原静子

いつも大変お世話になり、ありがとうございます。先日の参議院議員選挙では、石田まさひろ議員が無事当選することができました。厳しい選挙戦となりましたが、これもひとえに皆様お一人おひとりの力強いご支持の賜物です。大変お疲れ様でございました。

私は昨年引き続き第二次石破内閣文部科学大臣として、日々文科行政に取り組んでいます。これまで医療的ケア児への対応、看護教育のあり方等に取り組んできた実績を生かし、現場の声を政策につなげて「誰も取り残さない」教育の実現に努めて参ります。

これまで同様、看護は命を慈しみ、大切な人を護る素晴らしい仕事であると、次世代に伝えられるように、看護職の地位向上や環境改善にも、皆様と共に全力で取り組んで参ります。引き続きご指導ご支援よろしくお願い致します。



衆議院議員・文部科学大臣

あべ俊子



参議院議員

石田昌宏

※選挙後の国会議員は、機関誌を利用して当選に関する挨拶行為をすることができません（公職選挙法第178条）。石田昌宏議員には、これからの看護政策に取り組む抱負を語っていただきました。

栃木県看護連盟の皆様には、日頃より温かいご支援を賜り心より御礼申し上げます。酷暑や荒天の中でも、変わらぬ期待と声援をいただけることが大きな支えとなっております。これからも、国政の場において看護・医療・福祉政策に全力で取り組んで参ります。

病院や介護施設の経営は厳しさを増し、医療・介護体制はかつてない危機に直面しています。この現状を打開するためには、物価高騰や人件費上昇に対応した診療・介護報酬の大幅な引き上げが必要です。それは、現場の皆様が「このまま看護を続けていきたい」と思える処遇と環境を整えるために欠かせない取り組みでもあります。

こうした施策を通じて、皆様が「今日も良い看護ができた」と実感できる職場づくりを目指しています。その実現に向けて、人員確保、業務の効率化等を進め、看護の「量」を守りながら、「質」の向上にも力を尽くして参ります。

今後も現場の声を国政に届けて参りますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



参議院議員

友納りお

栃木県看護連盟の皆さま、こんにちは！

第27回参議院通常選挙において、石田まさひろ議員が3度目の当選を果たされました。厳しいなかでも、このような結果をいただいたことは、皆さまの看護政策推進へ向けた強い思いの表れだと考えています。

今年の通常国会は、内閣府大臣政務官として迎えました。政務官としての担務は幅広く、子ども・子育て政策から、共生共助、孤独・孤立対策、経済安全保障、宇宙、科学技術まで多岐に渡ります。こども家庭庁の政策は、母子保健を中心に、看護と関連するものも多く、これまでの経験を活かしつつ取り組みました。以前、一国会議員の立場で提言した「子ども・子育てDX」の政策がこども家庭庁でしっかりと前進していることは大変喜ばしいことでした。

引き続き、夜勤看護職員確保対策、ハラスメント、訪問看護、医療安全、看護教育、看護の専門性の拡大など看護政策にも取り組んでいます。石田議員と協力しながら、国政の場でしっかりと看護の課題の解決に努めて参ります。



足利市議会議員（看護師）

中島 まゆみ

今夏の参議院選挙では、看護連盟をはじめ多くの皆さまのご尽力により、石田まさひろ議員が引き続き国政で看護の声を届けられることとなりました。この時代においてとても重要で、心強いことです。私も市民に最も近い立場の議員として、市・県・国の議員と連携し、現場の声をまちづくりや政策へ生かしてまいります。

私事ですが、今年4月に第二子を出産し、働きながら子育てをする中で、栃木県内の看護職の皆さまが地域や家庭を支えてくださっていると改めて実感いたしました。これからもこの地域の健康と安心のためご尽力をお願いするとともに、皆さまのご健勝とご多幸をお祈りいたします。

石田まさひろ議員活動

決起大会



来 県



個人演説会



街 宣



退任役員・支部長ご挨拶



副会長
内堀 由美子

このたび、副会長としての任期を無事に終えることとなりました。

多くの皆さまに温かいご支援とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。栃木県看護連盟での主な活動は、自施設で支部の役員からはじまりました。先輩の役員の方に教えていただき活動したことが、今でも印象に残っています。

看護を取り巻く環境は日々変化しておりますが、その中で私自身、多くを学び、貴重な経験をさせていただきました。特に、皆さまの現場の声を伺いながら活動できたことは、私にとって大きな財産となりました。

今後は一会員として、OB会実行委員として、引き続き看護職の発展と働きやすい環境づくりに微力ながら努めてまいります。

これからも看護連盟の活動がより一層充実し、皆さまの力となることを心から願っております。

最後になりましたが、これまで支えてくださったすべての方々に深く御礼申し上げます。



国際医療福祉大学支部
支部長 藤澤 千栄美

1年間という短い間でしたが、国際医療福祉大学支部の支部長を務めさせていただきました。会長をはじめ、役員の方々のご指導をいただきながら支部長として連盟活動に携われたことに感謝いたします。第27回参議院議員選挙で、石田まさひろ候補が当選を果たしたことは、とても嬉しいと感じています。青年部役員と一丸となり熱い活動を行ってきましたが、とても楽しい経験となりました。若い世代にこそ、看護政策に興味を持つように今後も働きかけていきたいと思っております。

楽しい経験となりました。若い世代にこそ、看護政策に興味を持つように今後も働きかけていきたいと思っております。



監事
岡本 順子

2024年監事に就任し、1年の活動でしたが、看護連盟役員・会員の皆様にはご指導・ご支援をいただき感謝申し上げます。看護の代表である議員の方々の政策を直に聴き、これからの看護の未来をより良いものにしていくためには、私たち看護師が看護連盟活動への理解を深め、協力することが大切であると実感致しました。若い世代が自分たちのための活動として認識し、連盟と共に活動できるよう取り組んでいきます。大変お世話になりました。

取り組んでいきます。大変お世話になりました。



済生会宇都宮支部
支部長 上野 典子

2024年度、済生会宇都宮支部の支部長を務めさせていただきました。

1年間という短い期間ではありましたが、政治の場における看護職の必要性、そして看護連盟活動の重要性を改めて実感いたしました。特に、2025年の参議院選挙に向けた取り組みでは、皆様とともに活動を進める中で、選挙の厳しさや大切さを肌で感じるとともに、連盟の役割を深く理解することができました。支部長として微力ではありましたが、活動を支えてくださった役員・会員の皆様に、心より感謝申し上げます。今後は立場を変えても、引き続き看護連盟活動を支えていけるよう頑張ります。1年間、本当にありがとうございました。



鹿沼支部
支部長 山形 文子

2025年4月から3カ月間支部長を務め、7月の参議院選挙では新支部長とともに活動し、当選を経験しました。「国政に看護職の代表を」という目標のもと、会長はじめ役員・会員の皆様と一体となって取り組む中で、選挙を身近に感じ、看護連盟の役割と重要性を再認識しました。また、看護職が一致団結して行動する力強さと意義を深く実感する貴重な期間となりました。今後は看護連盟会員として微力ながらも活動に貢献してまいります。

として微力ながらも活動に貢献してまいります。

新任役員・支部長ご挨拶



副会長
寺崎 順子

この度、副会長を拝命し身の引き締まる思いです。役割を担えるか責任と不安も感じておりましたが、総会で皆様の熱い思いを肌で感じ、一緒に頑張りたいという気持ちになりました。看護連盟は、看護の質の向上と看護師の働く環境の改善を目指し、私たち看護職者の声を届けてくれる代表を国会に送るといった大きな役割があります。その実現のために、そして看護職者の明るい未来のために頑張ります。



監事
上野典子

このたび、監事を務めさせていただくことになりました。昨年度は済生会宇都宮支部の支部長を務めさせていただき、多くの学びと経験を得ることができました。今後は、監事として看護連盟の活動や役割をもっと多くの方に知っていただけるよう、興味を持ってもらえるような発信にも努めていきたいと考えております。皆さまにご指導いただきながら、精一杯取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



済生会宇都宮支部
支部長 **藤嶋淳子**

今年度より済生会宇都宮支部の支部長を務めさせていただくことになりました。看護の現場において、自分たちの働く環境を守っていくために政治や政策が重要であることを痛感しております。看護連盟の役割を、ひとりひとりにわかりやすく伝えて関心を深めてもらえるように活動していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



自治医大支部
支部長 **田邊由美子**

今年度より自治医大支部の支部長を拝命しました田邊でございます。これまで以上に看護・介護・福祉の役割が重要な時代へと突入いたしました。看護への期待が高まるなか、看護職の負担はますます増大しています。現場の声を国政に届け、私たちが安心して健康で働き続けられるよう、看護連盟の活動を広く理解してもらい、会員数の確保、支部の活性化に全力を注いでまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。



鹿沼支部
支部長 **橘川直保**

この度、鹿沼支部の支部長を拝命いたしました。
看護連盟の業績や役割、そして活動の意義をしっかりとお伝えし、看護職の労働環境や待遇の改善には政治の力が欠かせないことを、多くの方々を知っていただけるよう活動を進めてまいります。
まだまだ未熟ではありますが、会員の皆様と力を合わせ、働きやすい職場環境の整備に尽力し、看護職が国政の場でより一層活躍できるよう努めてまいります。今後ともご指導・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



国際医療福祉大学支部
支部長 **櫛田恵津子**

この度、国際医療福祉大学支部の支部長に就任します櫛田恵津子と申します。「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」のスローガンのもと、支部長として責任をもって連盟活動をしていきたいと思っております。政治活動という敬遠してしまい、自分たちの事として認識していない現状があります。看護連盟の業績や役割・活動内容などを伝え、看護職の処遇改善には、政治の力が必要だと理解していただけるような活動をしていきたいと考えます。



青年部支部
支部長 **大貫裕平**

この度、青年部支部長を務めさせていただくことになりました。
4年前のコロナ拡大で世の中から看護職の働く環境、人手不足に関してクローズアップされました。看護職の労働環境の整備や処遇改善をただ望むのではなく、自ら活動していく必要があります。そのためには連盟活動、連盟会員の皆様の力がとても大切だと日々感じています。
皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら、青年部支部らしく、栃木県の連盟を盛り上げるための起爆剤になればと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

40代研修

友納先生の「記録について」の研修に参加させていただきました。看護師だけでなく、弁護士の資格を持つ友納先生の講義は、裁判の実例をもとに具体的でとてもわかりやすい内容でした。裁判では証言の裏付けのためにも、



看護記録が資料として重視されます。看護記録は事実を正確に、客観的に記載する必要があります。今回学んだことを看護記録に活かし、正確でわかりやすい記録を記載していきたいと思えます。

那須南病院 薄井 恵



ポリナビワークショップ

5月15日に開催された、栃木県看護連盟主催のポリナビワークショップに参加させていただきました。普段の業務ではなかなか意識する機会の少ない「政治と看護のつながり」について、改めて深く考える貴重な時間となりました。

ワークショップでは、看護の現場に関わる政策や制度が、どのように政治と関わっているのかについて具体的な事例を交えた説明がありました。特に、医療や福祉に関する法改正や予算配分が、私たち看護職に直接的な影響を与えているという事実を改めて知り、驚きと同時に大きな責任も感じました。



また、模擬投票を実施しグループワークでは他の参加者と意見を交わす機会があり、それぞれの立場からの考えや課題意識を共有することができました。同じ看護職でも職場や経験年数によって視点が異なることに気づき、非常に刺激を受けました。

今回のワークショップを通じて、「看護の声を政治に届けること」の重要性を実感しました。今後は、選挙や政策提言といった社会参加にも目を向け、看護職としての視点を少しでも社会に活かせるよう行動していきたいと思えます。

最後に石田まさひろさん当選おめでとうございます！！

佐野厚生総合病院 石岡 麻梨



会員研修会

総会終了後、「看護の未来と看護代表議員の果たす役割」をテーマに石田昌宏政策秘書である五反分正彦氏より講演がありました。看護職に国会で仕事させることは、自分たちの未来を安定させること。選挙で代表を国政に送り出すことは、憲法で保障された国民の権利である。と述べられていました。看護職が一丸となり三度国政へ送り出すことを参加者で決意しました。



日本看護連盟通常総会等に参加して

2025年日本看護連盟事業計画、重点方針は、見える活動、行動する会員、確かな組織づくりとしています。看護を取り巻く環境や処遇改善のために政策を実現する行動力、活動が重要であることを学びました。日本看護連盟、都道府県看護連盟の政策実行力の強化のために、国会議員の政策説明会に参加することやブロック別政策セミナーで情報を共有し、看護職ひとりひとりが看護政策へ関心がもてるよう参加を促す活動について報告がされました。看護職がやりがいをもって働き続けられる職場環境づくりの実現のためにも、看護連盟の活動が必要であると感じました。



栃木県看護連盟通常総会報告



日時：2025年6月23日(月) 10:30~12:00
場所：コンセール大ホール
出席者：150名(内役員：7名)
委任状：6,140名
合計：6,297名

7年度栃木県看護連盟通常総会は、規約第4章22条、「総会は役員数の2分の1以上及び正会員の3分の2以上の出席をもって成立する(委任状を含む)」とあり、6月23日現在会員数6,427名、よってこの会は成立、開催されました。

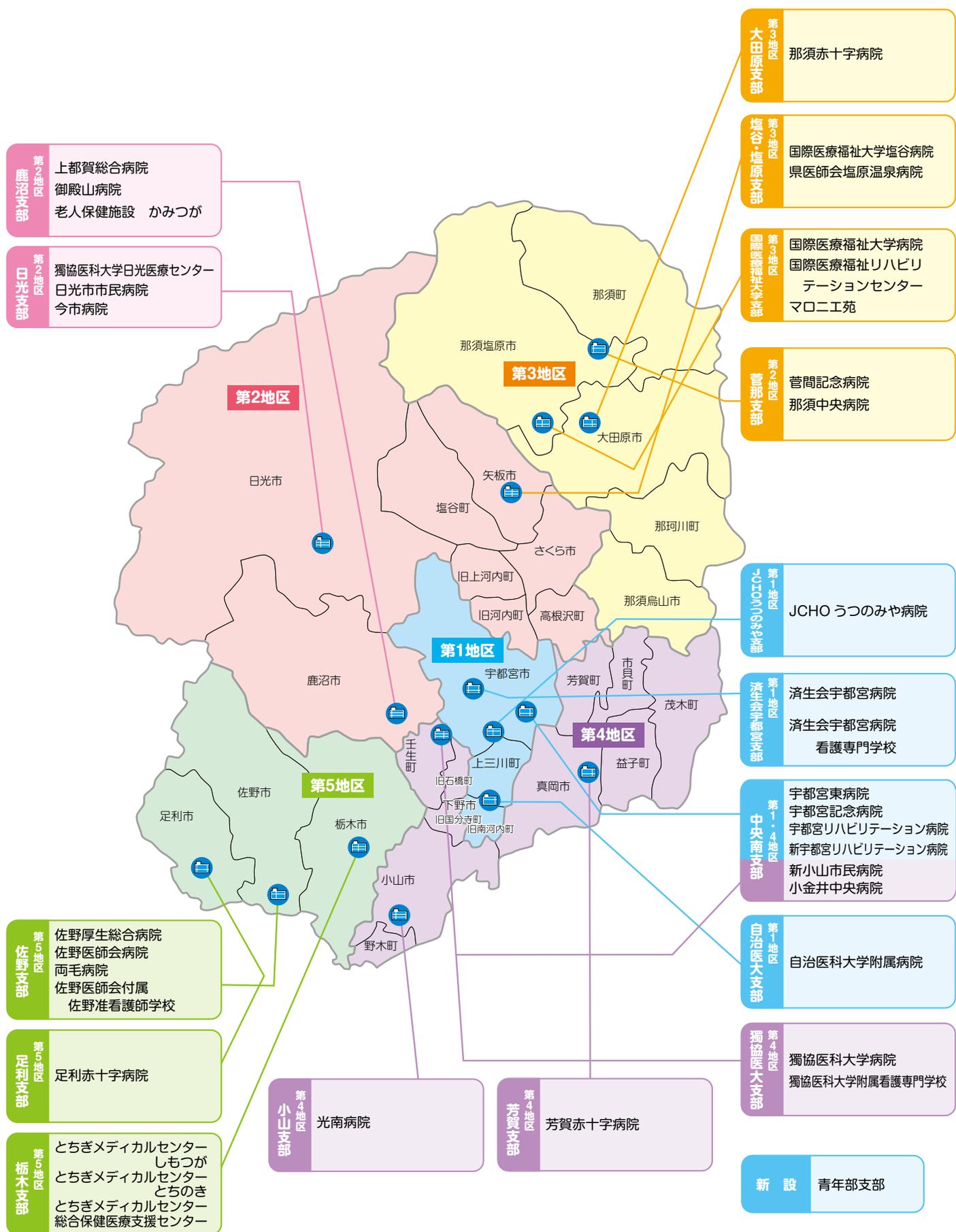
2025年度 事業計画

- I. 政治力・政策実現力の強化
- II. 組織力の強化・拡大
- III. 組織の適正な運営管理
- IV. 会員の福祉

2025年度 スローガン

「届けよう看護の声を！
私たちの未来へ」

2025 年度選挙区・支部一覧



心にのこるエピソード

障害者病棟の病棟師長をしていた時のことです。

患者は、50歳代の男性Aさん。肺がんの末期。酸素濃度も低く経過、独居で家族は疎遠であり面会に来る方もなし。日々ラウンドをすると病室の窓から外を見て「外に行きたい、お寺の境内があるところに行きたい」と話されていました。受け持ち看護師からも相談を受け、多職種とともに外出時の安全性を考慮したカンファレンスを何度も行いました。外出の日まで容態の変化の心配がありましたが、念願の外出日になり看護師と介護士とともに酸素ボンベをつけ車椅子で外出することができました。Aさんからは、「ありがとう本当に良かったよ。もうどこにも行くことができないで死んでいくと思っていたから」としみじみと話していました。その数日後、永眠されました。病棟内スタッフ全員で関わることができた症例でした。

幹事長 山杉睦子

起き上がりこぼし(勇気がでた出来事)

起き上がり小法師(おきあがりこぼし)は会津を代表する縁起物で、転んでもすぐに立ち上がる場所から、粘り強さと健康のシンボルとして縁起がいいとされています。毎年初市で家族の人数より1個多く買う習わしがあり、会津の家庭には欠かせない縁起物になっています。

看護師になって34年。退院支援という言葉も一般的ではなく、介護保険制度もなかった時代。看護師5年目に出会った80歳の独居女性患者は「自宅で暮らしたい」と強く望んだ。彼女は膠原病や老年期精神病、視力低下など複数の障害を抱え、身体障害者2級認定だった。その願いを叶えるため、多職種による地域連携カンファレンスを重ね、ボランティアも巻き込んだ在宅ケアシステムを構築。住み慣れた地域で暮らし続けられた。私はこの経験を通じて、寄り添い支える看護の原点を学んだ。看護師は「大丈夫、必ずまた立ち上がれる」と優しく励まし、患者が再び歩き出す勇気を引き出す存在だ。失敗や苦しみを経ても前向きに在ることで信頼が深まり、より良い看護に繋がると信じている。

上都賀総合病院 山形文子

我が家自慢の ペット紹介

ねずみ年に生まれたモル
モットのぼんたです。

ふわふわした靴下を履いた
足を見ると仲間だと勘違い
して近づいて、踏まれそうに
なります 🐾



おいしい お店の紹介

Gustare 佳乃や

営業時間 17:00~22:00
(ラストオーダー)

定休日 不定休

営業時間・定休日は変更となる場合がございますので、
ご来店前に店舗にご確認ください。

〒320-0026 栃木県 宇都宮市 馬場通り1-1-4 表参道スクエア一階
TEL : 028-688-8716



落ち着いた雰囲気のお店で、
お料理はすべて美味しいです。



水から始める、 「健康経営」の第一歩。

熱中症
対策

胃腸
症状を
改善する

社内やご家族の健康を守りませんか？私たちがご提案するのは、
「ウォーターヘルスケアという、新習慣。」

日本トリムは従業員の健康に配慮し、また元気で働く環境を作ることで
生産性の向上を図り、適正な収益を上げる「健康経営」に向けて
様々な取り組みを行っております。

【健康経営】はNPO法人健康経営研究会の登録事業者です。



日本トリムの水は
「健康をサポートする水」



体の半分以上は「水」です
水を変える健康対策

水なんて
どれも同じだと
思ってませんか？



～働く人を美しく、それが私達の願い～

ジュエリー全般・リフォーム～修理まで
何でも承りますので、お気軽にお問い合わせください



株式会社グランド

〒308-0848 茨城県筑西市幸町3丁目-11-27
TEL:0296-28-1916 FAX:0296-28-1920 フリーダイヤル:0120-210559
※3～60回まで金利手数料なし。お気軽にお求め頂けます。

日本ジュエリー協会正会員/栃木県看護連盟/群馬県看護連盟推薦/茨城県庁生協指定/茨城県学校生活協同組合指定

編集後記

7月の参議院選挙ではみなさまの団結により、無事石田議員を当選に導くことができました。ほっと一安心するとともに、選挙運動の厳しさについてもひしひしと感じられる選挙期間でもありました。大変な一時ではありましたが、今後も看護師が「今日もよい看護ができてよかった」と思えるよう、団結して頑張りましょう。